



このマニュアルの使い方
Youtubeで確認 (14分)

アレルギー緊急時対応マニュアル

事業主・制作：香川県小児科医会
協賛：香川県医師会、日本小児科学会香川地方会
平成29年度改訂

子どもに異変？

アレルギー症状かもしれない！
緊急対応マニュアルをみる！

誤食の有無には
こだわらない！

「息が苦しい」
「気持ち悪い」
「のどがへん」
「お腹が痛い」
「かゆい」
「ブツブツがでた」

- 発見者はリーダー代行となる
- 子どもから目を離さない
- 少なくとも1人の教職員に応援をたのむ

発見者は緊急性の高い症状があるか、5分以内で判断

消化器の症状

- 持続する
強いおなかの痛み
(がまんできない)
- 繰り返し
吐き続ける



呼吸器の症状

- のどや胸がしめつけられる
(苦しそう・苦しいと言う)
- 声がかすれる
- 犬がほえるような咳
- 息がしにくい・しにくそう
- 持続する強い咳こみ
- ゼーゼーする呼吸



全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便をもらす
- 脈を触れにくい
または不規則
- 唇や爪が青白い

NO

どれかひとつでもあてはまるか？

YES

- 症状チェックシート
どおりに対応

症状チェックシート (別紙)

- 可能なら保健室などに移動*
- 相談(養護教諭など)
- 連絡(校長・園長・家族など)

※移動について

- 必ずつきそう
- なるべく歩かせない
- 車いす・担架も考慮



緊急対応！

- その場に人を集める → 右①へ
緊急時の役割分担
- その場で動かさない → 右②へ
安静を保つ体位
- その場でただちにエピペン使用
迷うときは使う！ → うら③へ
エピペンの手順
- 救急車要請(119) → うら④へ
救急車の要請
- 呼吸・反応がない
(心肺停止かも?) → うら⑤へ
心肺蘇生の手順

① 緊急時の役割分担 (★の3人は必要)

★リーダー(校長・園長が担当)

- 現場到着後リーダーとなる
- すべてを把握する
- 緊急時対応マニュアルに従い判断・指示
- 内服の指示/介助
- エピペン使用/介助
- 心肺蘇生・AEDの使用/介助
- 保護者への状況説明

準備係

- 現場へ必要なものを運ぶ
- エピペン・内服薬
 - AED
 - 緊急時対応マニュアル
 - 症状チェックシート
 - 個別対応シート など

誘導係・その他

- 救急車の誘導
- 他の子どもの対応など

記録係

- 症状の観察
- 症状チェックシート(別紙)記入
→ 症状チェックシート
- 状況に応じて処置の介助 など

マニュアル



たいへん!
すぐきて!

【観察】

★連絡係

- 校長・園長を現場に呼ぶ
- 準備係へ連絡
- 救急車を要請→誘導係に連絡
- 記録係・その他人を集める
- 保護者に連絡

★観察係(発見者・養護教諭が相当)

- 症状の観察と緊急性の判断
- 子どもに声をかけ続ける
- 症状チェックシート(別紙)に従い、処置の必要性を判断
- 内服させる
- エピペン使用/介助
- 心肺蘇生・AEDの使用/介助

② 安静を保つ体位

ぐったり・意識もうろう

ショックです！急いで！

あおむけにして足を高く上げる



ショック体位！

吐き気・嘔吐

吐物による窒息の危険！



からだを横に向ける

息が苦しい

少しでも呼吸を楽に！

上半身をおこす
椅子など背もたれに
寄りかか
らせる





エピペンの使い方動画
(Youtube)で確認できます(1分)

③ エピペンの手順

子どもに声をかけながら、できるだけたくさんの人で対応しましょう

① エピペンを打ちやすい体勢をとる

- ゆっくりあおむけにする
- エピペン使用者は、こどもの脇に座る
- 介助者は、子どもをはさんで使用者とむかいあわせになる
- 介助者は、子どもの足のつけねと膝をおさえる

介助者→



ショック体位でもOK

② エピペンをケースから取り出して きき手で「グー握り」する

- オレンジ色を下にして握る
- 親指はそえない
- 握ったら持ちかえない



③ エピペンを打つ位置を確認

介助者がおさえている太ももの
前面、中央、外側
介助者の両手の中央★がめやす

- 服の上からでもOK
- ポケットの中が空であることを確認



④ エピペンを打つ

- 安全キャップ(青色)を上引き抜く
- 先端(オレンジ色)を目標に軽くあてる
- 子どもに声をかける:「エピペンをするよ!じっとしてね!」
- そのまま垂直にグッと押しつける
- 「パン!」と音がしたら投与完了・そのまま3秒待つ
※音がしない場合はもう一度グッと押しつける
- エピペンを太ももからゆっくり離し、注射部位を軽くもむ
- オレンジ色のニードルカバーが伸びていることを確認



やりなおし!

OK

⑤ その後

- 通常 15分以内に楽になる(効果は約15分持続)
- 元気になっても動かない、観察を継続
- 使用済みエピペンはケースに入れ病院へ
- (2本目のエピペンがある場合)
10分後にも「緊急性の高い症状」があれば
2本目のエピペンを使用(どちらの足でもよい)



介助者→

エピペン使用者→

④ 救急車の要請 (119番通報)

個別対応シートを
見ながら伝える



連絡係

「アナフィラキシーでの救急要請です!」

□ 施設名、電話番号、住所 ※事前に記入しておく

施設名	
電話番号	
住所	

- 子どもの名前、性別、年齢
- 現在の状況(原因がわかれば伝える)
- エピペンの有無、使用したかしていないか
- 私(通報者)の名前、携帯電話番号※
※その後も救急隊とすぐ連絡が取れるようにしておく

⑤ 心肺蘇生の手順

1 反応の確認

- 肩を叩いて
大声で
呼びかける

同時に

2 救急要請 119番

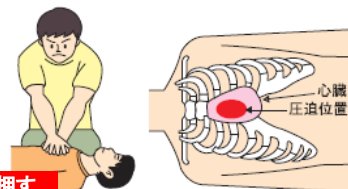
- AEDの手配
- 人を集める

反応がない

3 呼吸の確認

- 胸とお腹の動きを見る
- 10秒以内に判断

普段通りの呼吸をしていない



4 胸骨圧迫

必ず

- 胸の真ん中を両手で圧迫
- 強く(胸の厚さの約1/3)
- 速く 1分あたり100回 押す
- 絶え間なく(中断は最小限に)

人工呼吸

可能なら

- 2人以上で対応できれば実施
- 胸骨圧迫30回+人工呼吸2回
- 鼻をつまんで、下顎挙上
- 約1秒で胸が上がる程度に吹き込む



5 AED

- 準備中も胸骨圧迫をできる限り止めない
- 電源を入れて音声ガイドに従う
- 電極パッドを貼る(右上前胸部、左下側胸部)
- ショックの指示があったら、ショックボタンを押す
- 直ちに胸骨圧迫を再開

